くまもとＳＤＧｓ
アワード
2026

中村製材株式会社

100年先も息をしている「木々との暮らし」を創造し
住む人の健康を守り「豊かな未来」を創生する製品づくりの実現

【取り組み内容】

【長寿な「本物の木」を創造】

〇伝統的な桟積み技法を継承し、環境負荷に配慮した良質の木材製品づくりの実現。

〇安心・安全な天然乾燥木材の普及により次世代を超えて住み継げる住環境を提供。

【ほほえみの森づくりを創生】

『ほほえみの森』3つの柱
①心やすらぐ森づくり
②水源涵養の森づくり
③動物・植物がほほえむ森づくり

〇放置林解消に向けた森林再生への取り組みを強化。

〇森の担い手として健全な森林循環サイクルの構築。

〇森林情報システムの管理と地域の専門家との連携。





評価項目ごとの取り組みの特徴・ポイント

普遍性	・一手間かけた独自の木材天然乾燥手法による桟積み技術により木材本来の生命力を保ちながら、耐久性の高い建築用木材を製造します。 ・放置林を蘇らせるべく森の担い手となり大規模な間伐を施しながら長期育林を目的に森林整備を促進。
包摂性	・令和7年度日本製材技術賞奨励賞受賞（木材製造工場の生産技術の評価と品質改善の取り組みによる受賞） ・2025年くまもとSDGｓアワード優秀賞受賞（長期的な森林保全・森林整備活動への取り組みによる受賞） ・第32回くまもと環境賞（自然共生賞）受賞（環境保全・創生に関する長年の活動の功績を評価され受賞） 長年の取り組み実績が地域社会へ広く理解され共感されたものと実感します。更なる経済活動と環境保全の両立により社会的な持続可能性（誰ひとり取り残さない社会）を実現し国際社会の一員としてSDGｓに貢献します。
協働性	・天然乾燥木材の製造工程である桟積みの技術は大規模な機械設備に依存しない『環境負荷ゼロ』の木材建築の普及に大きく貢献。 ・山林所有者の後継者不足による放置林のお悩み相談を賜り、所有権移転による受入件数は大多数に上る。 ・林業従事者不足による荒廃地を蘇らせるべく、森の担い手となり森林整備を実施。 ・森林情報システムの構築により自社有林の情報管理の徹底及び専門家の同行による山林の定期的な現地視察を行うと共に将来の事業承継を見据えた業務委託契約を締結。
統合性	・国産材100%の木材製品にこだわっています。地域産材の利用促進により地域経済の活性化に貢献します。 ・長年にわたる森林再生の取り組みは地球温暖化抑制に繋がり、自然災害を防ぐ適応力強化と生物多様性保全により、私たちの暮らしを守る重要な役割を担っています。
透明性	・エネルギーを使用しない自然乾燥材（AD材）を製造します。つかう人が直接確認し選べる透明性を確保します。太陽の光と風の恵みにより乾燥させる製造工程を可視化することで環境価値の付加を高めます。木の本来の品質面の良さを伝え、透明性・信憑性を確保するために企業の情報開示にも力を注いでいます。自社ホームページや会社案内板を通じSDGｓの取り組み内容を公開しています。 ・『ほほえみの森』づくりを県内外に広め森林整備活動を通じて次世代へ継承する見本林として美しい景観を保護しながら人々を癒す森づくりを推進します。

貢献するＳＤＧｓのゴール

